

みき通信

日本共産党 町議会議員
くぼたみき 活動報告



第56号 2016年1月25日

発行 がんばれくぼたみきの会

連絡先 875-7126 (阿部)

戦争法廃止、改憲阻止 くらし優先の政治に！

新年早々の年頭記者会見で、安倍首相は改憲を参議院選挙の争点とするとして、改めて改憲への強い意志を示しました。

同時に大規模な自然災害などへの対応を口実に、「緊急事態条項」を憲法に加えることを、改憲の出発点にしようという動きが表面化しています。「国防軍」創設をうたう自民党の改憲案にはすでに「緊急事態」条項が準備されており、戦争法の発動に反対するデモや集会など、内閣が「内乱」「社会秩序の混乱」とみなせば「非常事態」を宣言できてしまうのです。そして内閣が「法律と同じ効力を有する政令」を制定したり、地方自治体の長に「必要な指示」ができ、首相を含む国会議員の任期や選挙も先送りできるなど、政権のやりたい放題になります。

ところで、昨年末に決定した2016年度の政府予算案では、社会保障や暮らしの予算を厳しく抑制、削減する一方で、大企業には連続で減税し、軍事費は初めて5兆円を突破しています。「アベノミクス」の3年間で大企業は過去最高益を更新したというのに、国民の所得や消費は冷え込んだままですが、首相にはその認識はありません。さらに重大なのは、医療、介護、年金、生活保護など社会保障の全面改悪を、参院選挙後に議論を開始して実行に移す計画だということです。

国民を犠牲にしながら、戦争法（安保法）の強行成立の後は改憲に執念を燃やし、アメリカと大企業の利益のために戦争への道を進むこの政権を許しては、私たち国民の命も暮らしも守れません。

安倍首相の狙う、参院選で改憲発議ができる「3分の2」以上の議席確保をさせず、国民の願いで動く新しい政府を作るために、今共同の輪を広げる時です。

葉山町 新成人268人が迎える

町議会議員 くぼたみき

1月11日、私の末娘が、30年前に私が着た振り袖を着て、笑顔いっぱい成人式に出席しました。葉山町の成人式は、参加人数も220人ほどで全員の顔が見えとても温かい雰囲気での式でした。今年は、とても賑やかというか、祝賀会の席では来賓者の挨拶も聞こえず、聞こうとしていない新成人も一部見られ、少し残念でした。

今年の夏の参議院選挙から「18歳選挙権」が始まり約200万人の方が選挙権を持ちます。高校などの教育現場では、生徒たちに政治への意識を高めてもらうよう取組みを進めていますが、全国の教育委員会の半数が、心配や懸念を抱いているというニュースを耳にしました。高校では主権者教育が行われています。主権者教育は民主主義の担い手を育てることに繋がり、その鍵を握る副教材として総務省と文部科学省が作成した、「私たちがひらく日本の未来」と教員向けの「指導資料」があり、「指導資料」のほとんどで「政治的中立性」が書かれています。自分の考えを押し付けたり異論を攻撃したりするのは論外ですが、中立性を強調するあまり、教員を萎縮させ、マニュアル化してしまう心配がある。と懸念されています。

日頃から政治や社会情勢に興味を持ち、色々な意見に耳を傾け、議論、選択して、自分の主義主張を持って投票に行く。選挙権が与えられても、投票しなければ、自分の意志表示にはなりません。高校で学んだから、すぐ選挙の意味や政治への興味がわくと言うものでもないでしょう。若者たちの力を十分に生かせる政治、教育など私たちの課題です。

葉山町では、中学生議員を募り「中学生議会」を開催し、ほんの少しの時間ですが「議会制民主主義」を学びます。また本物の投票箱を使った模擬投票を行い、政治と選挙の重要さ、投票の重みを感じてもらうなど取り組んでいます。昨年末行われた、葉山町町長選では過去最低の投票率で様々世代が投票に行かないというものでした。投票率の低さの要因は色々と思いますが、議論した積み重ねが選挙結果です。投票という自らの権利を放棄せず行使に民主主義を成熟させていけるよう、また興味が湧くような国政、町政の情報発信も重要です。